

# 理科だより

発行

平成21年7月10日

編集 RIKADAISUKIMAN

## ヒメジオンと虫

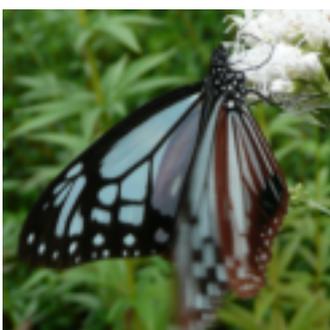
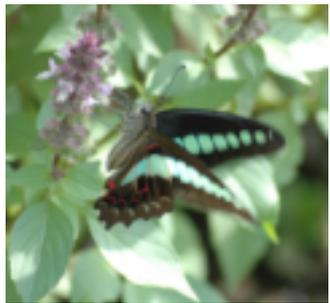


ヒメジオンにつく、ヒメマルカツオブシムシ。キク科の植物にくっつきます。幼虫は、衣類を食い破る害虫。成虫は、花の蜜が大好き。それにしても、被子植物は昆虫の力を借りて受粉する様子が良くわかります。

対して、イチヨウなどの裸子植物は花粉を飛ばすため、昆虫を必要としません。イチヨウなどはむしろ毒があったりして、昆虫が付きにくい。そのため、街路樹に適しているとも言えます。(桜などは、毛虫だらけですから)



アリとアブラムシとの共生。アリはアブラムシの分泌物から栄養をもらい、その代わりに、アリをテントウムシなどの天敵から守ってもらいます。アリはアブラムシの用心棒です。



コケ類・シダ類 種子を作らず、胞子で増えるのが、コケ・シダですね。種子を作る裸子植物は中生代、被子植物は新生代です。もっと前の、古生代 - 石炭紀にはシダの林があったわけですから、相当古いわけです。



ゼニゴケ



コケの胞子嚢



シダの裏にある胞子

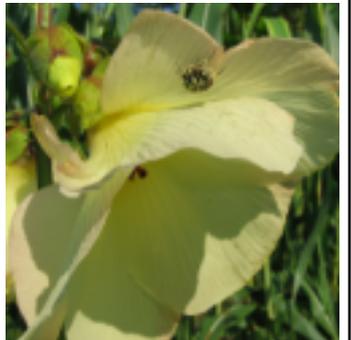


シダ

人にとって役立つ草



タデアイ 染物に使います。



トロロアオイ 根を摩り下ろし、和紙を作る時のツナギにします。



綿